

公文式小竹教室 環境行動計画

取組方針

公文式小竹教室は、次代を担う『地域の子供の教育に貢献する』ことをモットーに、学習塾の事業を行っています。

当教室の事業活動を進めていく中で、環境保全も重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくし、環境にやさしい事業所を目指すために、以下の取組を推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減）
- ② 事務活動における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）と環境教育の推進

この方針に基づいた自主的な環境保全活動を教育活動の一環として取り入れます。

平成25年8月16日

公文式小竹教室

指導者 原 茂子

3. 環境負荷の低減目標

26 年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 24 年度です。)

【目標 1】二酸化炭素の総排出量を 1%削減する。

基準年度の総排出量 2,489 (kg-CO ₂)	目標年度の総排出量 2,464 (kg-CO ₂)
--	--

【目標 2】廃棄物の適正管理を行い、廃棄物の排出削減とリサイクルに努める。

【目標 3】コピー用紙使用量を 1%削減する。

基準年度の使用量 1 (kg)	目標年度の使用量 0.99 (kg)
--------------------	-----------------------

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】二酸化炭素総排出量の削減

- ① 人のいない場所の消灯を徹底する。
- ② 電球型蛍光灯等を導入し、照明器具の省エネ化を図る。
- ③ 温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する。
- ④ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ⑤ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。
- ⑥ 無理のない範囲で空調の使用時間を短くする。(使用・停止 30 前のスイッチオン・オフ)
- ⑦ 省エネ家電製品の購入を進める。
- ⑧ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ⑨ エコドライブに取り組む。(アイドリングストップ、ふんわりアクセル)
- ⑩ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。

【取組 2】廃棄物排出量の削減

- ① 廃棄物は決められたごみ箱に分別して出す。
- ② ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ③ 使用済みの段ボール、梱包材等のリサイクルを徹底する。
- ④ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう。
- ⑤ 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。
- ⑥ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。
- ⑦ 紙のリサイクルに努める。
- ⑧ 製品をできるだけ長期間使用する。

【取組3】コピー用紙使用量の削減

- ① 両面コピー、縮小コピーに努める。
- ② 顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。
- ③ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認しミスコピーの削減に努める。
- ④ 電子メディアの利用によって、ペーパーレス化を推進する。
- ⑤ コピーをする場合は、その必要性を十分考える。

5. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、活動責任者を中心に取り組むとともに、その進捗状況を年2回チェックします。